

平成28年度全学FD委員会教育情報マネジメントワーキンググループ活動計画
 —FD推進センター基本計画の教育情報マネジメントワーキンググループ活動計画への反映—

| FD推進センター基本計画 平成28年度 教育情報マネジメント ワーキンググループ活動計画 | 中期計画（平成28年度～平成29年度） | |
|---|--|--|
| | ①日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（FDer）の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討：日本大学におけるファカルティ・ディベロッパー（以下、FDer）の在り方を踏まえ、部科校におけるFDerの養成方策の検討並びに部科校におけるワークショップ等各種職能開発プログラムの企画・実現に向けた諸方策について検討する。 | ②学生参画型FD活動の在り方を踏まえた部科校への浸透策の検討：日本大学における学生参画型FD活動の在り方を踏まえ、部科校における学生参画型FD活動の浸透策を検討する。また、浸透した機運や活動を実際の教育の質的向上に向けた取組につなげていくための諸方策を検討する。 |
| 「日本大学 FD NEWSLETTER」の作成 | 「自主創造の基礎」の導入に伴うカリキュラムの変更、ラーニングコモンズなどの導入にはグローバルな視点を持ったFDerの存在が欠かせない。各部科校におけるFDerの養成方法に焦点をあてたい。 | トピックスとして、「学生FDサミット2016春」及び「日本大学学生FD CHAmmit 2015」の様子を紹介し、本学における学生FDのひろがりを紹介。 |
| 『日本大学FDガイドブック』の改訂 | ガイドブックをより使いやすい内容に改訂することを進めると同時に、利・活用の機会をどのように設定するかについても検討する。全学共通の初年次教育科目である「自主創造の基礎」の副教材として「Learning Guide」の活用を全学的に検討する。 | 全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1」及び「自主創造の基礎2」が各学部で正式に導入されるのを受け、「自主創造の基礎1」ガイドラインに対応可能な内容とし、正式なテキストとして、半期又は通年を通じて使用できる内容への拡充について検討する。 追加内容の例として、教育理念である「自主創造」に深く関係する、様々な授業形態によるアクティブラーニングの実践について、教員側と学生側にとって必要となるアクティブラーニングの考え方や参考となる実施例の充実を検討する。 |
| 『日本大学FD研究』の編集・刊行 | 高等教育開発に関する論考や活動報告などを学内外に広く共有することにより、組織的な教育の質向上を図ることを目的として掲げ、より幅広く日本大学FD研究への寄稿を働きかけ、投稿原稿については、原則として期限を設けず随時受付する。採用が決定された原稿はPDF化し、その都度日本大学FD推進センターウェブサイトにおいて公開することを通して、『日本大学FD研究』のさらなる内容充実を図る。 | |

| | | |
|--|---|---|
| <p>FD推進センターウェブサイトの具体的な活用方法の継続的な検討と展開</p> | <p>①他のHPや各部科校の学務系のHPとリンクをはる。各部科校のFD活動の情報をHP上に上げ、情報の共有化を図る。②各部科校で行われているWSなどでは交互のTFの交流の可能性を記載する。③各部科校で実施されたWSなどの報告書をPDF化して閲覧可能とする。このことにより実際に行われている各部科校の内容が明らかとなる。</p> | <p>①学生参画型FD活動は、一部の部科校の他は十分に浸透していない。まずは学生参画型FDの代表として、『日本大学FD CHAmiT 2015』の開催通知を掲載する。②学生参画型FD活動普及のための、各部科校の学生FD活動の状況を掲載する欄を設ける。③学生参画型FD活動が、実際の教育の質的向上に有効であった事例の報告などを募集する。</p> |
|--|---|---|